

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 2 月 10 日 (2005.2.10)

【公開番号】特開 2002-6321 (P2002-6321A)

【公開日】平成 14 年 1 月 9 日 (2002.1.9)

【出願番号】特願 2001-64073 (P2001-64073)

【国際特許分類 第 7 版】

G 0 2 F 1/1337

G 0 2 F 1/13

G 0 2 F 1/1335

G 0 2 F 1/1343

G 0 2 F 1/1368

【F I】

G 0 2 F 1/1337

G 0 2 F 1/13 5 0 5

G 0 2 F 1/1335 5 2 0

G 0 2 F 1/1343

G 0 2 F 1/1368

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 3 月 4 日 (2004.3.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

相対向する面にそれぞれ配向膜が設けられた一対の基板間に液晶が挟持されてなり、複数の走査線と、複数のデータ線と、これら走査線およびデータ線により区画された画素領域毎に設けられたスイッチング素子および画素電極と、を有する液晶装置であって、前記配向膜は斜方蒸着法によって形成されているとともに、前記液晶はネガ型のネマティック液晶とされてなり、前記一対の基板間に挟持される液晶層の厚さを d とし、前記画素電極同士の間隙を L としたときに、 $d / L \geq 1$ なる関係を満たすことを特徴とする液晶装置。

【請求項 2】

前記配向膜が酸化シリコンまたは窒化シリコンからなることを特徴とする請求項 1 記載の液晶装置。

【請求項 3】

前記画素電極が光反射性の金属電極であることを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の液晶装置。

【請求項 4】

請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の液晶装置を備えたことを特徴とする投射型表示装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 3 】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明に係る液晶装置は、相対向する面にそれぞれ配向膜が設けられた一対の基板間に液晶が挟持されてなり、複数の走査線と、複数のデータ線と、これら走査線およびデータ線により区画された画素領域毎に設けられたスイッチング素子および画素電極と、を有する液晶装置であって、前記配向膜は斜方蒸着法によって形成されているとともに、前記液晶はネガ型のネマティック液晶とされてなり、前記一対の基板間に挟持される液晶層の厚さを d とし、前記画素電極同士の間隙を L としたときに、 $d / L = 1$ なる関係を満たすことを特徴とする。

また、本発明の液晶装置は、前記配向膜が酸化シリコンまたは窒化シリコンからなることを特徴とする。

また、本発明の液晶装置は、前記画素電極が光反射性の金属電極であることを特徴とする。

また、上記液晶装置を投射型表示装置に備えたことを特徴とする。